

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年9月2日
事業者名:	株式会社 柘植建設

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	G-クレジットの森・応援パートナー登録をし、資源や電気の無駄の削減に取り組んでいる。地域の山林の手入れ（間伐や草刈りなど）を定期的に行い森林資源を保全し、里山環境の保護をしている。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑩住み続けられるまちづくりを、⑮陸の豊かさを守ろう	G-クレジットの森・応援パートナーに登録したR6年度、事業所から排出される木材廃材総量を4%減少した（R3年度比）森林保全活動として下草刈りや間伐を一年に3回実施した	指標	Gクレジット購入量 森林保全活動の年間実施回数
				目標	2026年までに5t - CO2以上の購入を目指す 森林保全活動を持続、周知し、2030年度までに活動に参加する参加者総数をR3年度比で2倍にする
社会	働きがいのある職場環境づくりを推進 社員一人一人のスキルアップを促し、生産性向上を図る	⑧働きがいも経済成長も、④質の高い教育をみんなに、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	岐阜県建設人材育成企業に登録した資格取得支援制度を導入し、講習会や資格試験の費用を補助したジェンダーを含むすべての差別を禁止した就業規則を制定し、役員対象にハラスメント問題や人権に関する啓発教育を行った	指標	ハラスメントや人権問題および各種社内教育の実施回数 費用補助する資格や講習会の種数 ぎふ建設人材育成リーディング企業（シルバーランク）認定の有無
				目標	2030年度までに社内教育を全社員対象にし、社員全員に対して毎年2回以上の人権教育を行う費用補助を行う資格、キャリアアップのための講習や教育の種類を増加し、2030年度までに20種類以上の補助を実施する 2026年までにぎふ建設人材育成リーディング企業（シルバーランク）の認定を目指す
経済	業務管理システムなどのITシステムを導入、業務のデジタル化を推進することで効率化を図る	⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	2022年に業務管理システムを導入、業務の共有化で効率が向上した 2024年に電子黒板システムを導入、工事管理の効率が向上した	指標	見積、実行予算などの電子化率
				目標	2026年までに受注品目すべての電子化を目指す
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 <具体的な内容を記載> 2024年度経営ビジョン発表会にて取組を発表、従業員への共有を行った。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページで公表している 事務所玄関に目標・および取組みを掲示している 恵那市SDGs推進協議会へ参加している			